

第7回エコバランス国際会議  
～私たちの将来社会をシステム思考で設計する～  
Call for Paper (発表申込案内)

会 期: 2006年11月14日(火)～16日(木)  
会 場: つくば国際会議場「エポカルつくば」  
〒305-0032 つくば市竹園 2-20-3 Tel 0298-61-0001 Fax 0298-61-1209  
会議ホームページ: [http://www.sntt.or.jp/ecobalance7/Japanese/index\\_J.html](http://www.sntt.or.jp/ecobalance7/Japanese/index_J.html)  
発表申込: 平成18年3月1日より、上記ホームページにてオンライン発表申込を開始します。  
第7回では、特に「エネルギーと持続可能性」に関連する報告を歓迎します。  
カテゴリー等、詳細についてはホームページをご覧ください。  
発表申込締切: 2006年5月1日  
参加登録料: 2006年7月1日より、ホームページにてオンライン参加登録を開始します。  
発表者の方も参加登録をしていただきます。

	早期登録料**	普通登録料
会 員*	30,000 円	40,000 円
非会員	40,000 円	50,000 円
学 生	10,000 円	20,000 円

\* 主催団体の会員(団体会員を含む)

\*\*2004年8月20日までに振込み完了の場合

主 催: 日本LCA学会  
社団法人 未踏科学技術協会 エコマテリアルフォーラム  
独立行政法人 農業環境技術研究所  
社団法人 産業環境管理協会 LCA日本フォーラム  
財団法人 建築環境・省エネルギー機構  
社団法人 環境情報科学センター  
後 援: 文部科学省(依頼中) 農林水産省(依頼中)  
経済産業省(依頼中) 国土交通省(依頼中)  
環 境 省(依頼中)  
協賛団体: (依頼中) 2頁目より参照  
事 務 局: 社団法人 未踏科学技術協会 担当: 為田郁代  
TEL: 03-3503-4681 FAX: 03-3597-0535  
e-mail: iceb7@sntt.or.jp

## 第7回エコバランス国際会議協賛団体リスト（依頼中）

(NPO)エコデザイン推進機構	(社)日本機械学会
エコデザイン学会連合	(社)日本金属学会
エネルギー・資源学会	(社)日本建設業団体連合会
グリーン購入ネットワーク	(社)日本建築学会
環境経済・政策学会	(社)日本工学アカデミー
環太平洋産業連関分析学会	(社)日本材料学会
建設副産物リサイクル広報推進会議	(社)日本産業機械工業会
高圧ガス保安協会	(社)日本施設園芸協会
(財)化学技術戦略推進機構	(社)日本自動車工業会
(財)製造科学技術センター	(社)日本食品科学工学会
(財)素形材センター	(社)日本塑性加工学会
(財)造水促進センター	(社)日本鉄鋼協会
(財)地球環境産業技術研究機構	(社)日本鉄鋼連盟
(財)日本建築センター	(社)日本電機工業会
(社)セメント協会	(社)日本土木工業協会
(社)ビジネス機械・情報システム産業協会	(社)日本包装技術協会
(社)プラスチック処理促進協会	(社)日本木材加工技術協会
(社)化学工学会	(社)農林水産先端技術産業振興センター
(社)火力原子力発電技術協会	(社)表面技術協会
(社)環境科学会	(社)粉体粉末冶金協会
(社)強化プラスチック協会	情報通信ネットワーク産業協会
(社)空気調和・衛生工学会	森林・木質資源利用先端技術推進協議会
(社)軽金属学会	生態工学会
(社)建築業協会	石油化学工業協会
(社)高分子学会	石油連盟
(社)資源・素材学会	日本LPガス協会
(社)精密工学会	日本MRS
(社)石油学会	日本ゴム工業会
(社)大気環境学会	日本チェーンストア協会
(社)大日本農会	日本バイオマテリアル学会
(社)電気学会	日本化学繊維協会
(社)電子情報技術産業協会	日本公認会計士協会
(社)土木学会	日本生活協同組合連合会
(社)日本アルミニウム協会	日本製紙連合会
(社)日本エネルギー学会	日本電子材料技術協会
(社)日本ガス協会	日本農作業学会
(社)日本ゴム協会	日本農業学会
(社)日本セラミックス協会	日本複合材料学会
(社)日本化学会	日本木材学会
(社)日本化学工学会	農業機械学会
(社)日本化学工業協会	廃棄物学会
(社)日本環境教育フォーラム	

## 発表募集：

発表を希望される方は、2006年4月20日までに事務局宛に発表題目、発表者氏名・所属・連絡先と発表概要を提出していただきます。発表概要は英語もしくは日本語で、英語の場合は300語程度、日本語の場合は400字程度とします。詳細は、セカンパサーキユラーおよびエコバラン国際会議ホームページにてお知らせします。  
発表概要が本会議の主旨と合致すると認められた場合は、2006年5月31日までに承認通知を送付するとともに、口頭発表あるいはポスター発表の区分を連絡し、プロシーディング原稿の書式を提示いたします。

## 期日（予定）：

2006年 1月	2nd Circular & Call for Paper
4月 20日	発表申込締切
5月 30日	発表受理通知
8月 20日	論文原稿締切
8月	Final Circular
8月 31日	早期登録締切

## 最新情報：

最新の情報は、こちらのホームページをご覧くださいことができます。(http://www.snth.or.jp/ecobalance7/)

## 事務局：

「第7回エコバラン国際会議」事務局  
社団法人 未踏科学技術協会 担当：為田郁代  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-5 櫻ビル9階  
TEL: 03-3503-4681 FAX: 03-3597-0535  
E-mail: [iceb7@snth.or.jp](mailto:iceb7@snth.or.jp)

※本国際会議の今後のご案内をご希望の方は、お名前、連絡先など明記の上、上記事務局まで、e-mailにてご連絡下さい。

## 第7回

## エコバラン国際会議

私たちの将来社会を  
システム思考で設計する

### First Circular



EcoBalance

2006年11月14日～11月16日  
つくば国際会議場「エコカルつくば」

主催  
日 本 エ ン ー 学 会  
社 団法人 未踏科学技術協会 エネルギー研究所(予定)  
社 団法人 農業環境技術協会 研究(予定)  
社 団法人 産業環境管理協会 LOA日本7ホール  
財 団法人 建築環境・省エネルギーセンター  
社 団法人 環境情報科学センター

後援(予定)  
文部科学省  
農林産省  
経済産業省  
国土交通省  
環境省

<http://www.snth.or.jp/ecobalance7/>

## 開催趣旨：

持続可能な社会にむけた将来の設計は、私たちの世代に課せられた責任です。便利で快適な生活を享受している現代は、豊かな環境と社会を将来世代のために残さなくてはなりません。技術、社会そして環境の間の相互作用を考慮して、私たちが直面している様々な問題を解決するためには、「システム思考」が重要だと考えます。エコバラン国際会議は、LOAを原点として、この「システム思考」に基づく手法開発とその実践に関する議論の場として発展してきました。

第7回エコバラン国際会議では、人間社会の土台を支える「エネルギー」と「素材」に焦点をあて、将来社会の設計についてシステム思考をもって議論したいと思います。エネルギーや素材に係る技術・製品開発の将来ビジョンを描くためには、それらの技術や製品が環境や社会経済に与える影響を明らかにすることが求められます。新エネルギーやリサイクル等に関する事例研究を伴う新しいコンセプト、理論、分析ツールに関する報告を歓迎します。

加えて、本会議では、急速な経済発展と社会変化に直面し、世界のエネルギー・資源バランへの影響を増しつつある「アジア」に注目します。エコバランアジアの開発や環境資源管理など、アジアの国々や地域に関わりの深い報告も歓迎します。

本会議は「エコバラン」に関して広く議論する場であり、上記の重点テーマ以外の報告に関してもオープンであることはいずれもありません。

本会議が、多くの参加者を得て、我々の将来社会の設計に資する実りある成果を上げることが期待しています。

キーワード:

- 1) Methods and Database
  - Life Cycle Assessment (Inventory Analysis, Impact Assessment)
  - Material Flow Analysis
  - Input-Output Analysis
  - Software and Database
  - Design for Environment
  - Eco-efficiency
  - Material Flow Cost Accounting
  - Environmental Accounting
  - Life Cycle Costing
  - Cost Benefit Analysis
  - Socio-Economic Integration Tools
  - Environmental Psychology/Sociology
  - International and National Standard (Eco-label, ISO etc.)
  - Supply Chain Management
- 2) Empirical Studies for Decision-Making
  - Energy Issues
  - Climate Change
  - Recycling & Wastes Management
  - Natural Resources Management
  - Transportation & City Planning
  - Building Policy
  - Industrial Symbiosis
  - Product Assessment/Policy (Manufacturing Products, Food & Agriculture Products, Services, ...)
  - Eco-Materials
  - Hazardous Substances
  - Consumption (Consumer Behaviors, Environmental Information, PSS etc.)
  - Environmental Education
  - Information and Communication Technology Policy & Regulation (Global, National, Local)
  - Corporate Social Responsibility

会期:

平成18年11月14日(火)～16日(木)

会場:

つくば国際会議場「エポカールつくば」  
〒305-0032 つくば市竹園 2-20-3  
Tel 0298-61-0001 ・ Fax 0298-61-1209  
<http://www.epochal.or.jp/>

言語:

原則として英語を会議の公式言語とします。ただし、口頭発表の一部は日英同時通訳を行います。詳細はセカンダリーキーマンでお知らせします。

登録料:

	早期登録料**	普通登録料
会 員*	30,000円	40,000円
非会員	40,000円	50,000円
学 生	10,000円	20,000円

\* 主催団体の会員(団体会員を含む)  
\*\* 2006年8月31日までに振込み完了の場合  
登録会費 10,000円

銀行振込先:

みずほ銀行 虎ノ門支店  
(普)口座番号1921361  
口座名義「エコバリエンス国際会議」

なお、登録料は次のカードによる支払いが可能です。  
支払い可能なカード: VISA, AMEX, MASTERJOB

実行体制:

- 組織委員長** 庄子 幹雄 ((社)経済団体連合会 環境安全委員会 産薬物・材料の部会 部会長、産薬物部 常任顧問)
- 実行委員長** 森口 裕一 ((独)国立環境研究所 循環型社会形成推進・産薬物研究センター)
- プログラム委員長** 本藤 祐樹 ((横浜国立大学 大学院環境情報研究院)
- 総務委員長** 森下 研 ((株)エコーネジメント研究所)
- 実行委員**
- 青江多志子 (松下電器産薬(株) 環境本部)
  - 菅木 良輔 ((社)産薬環境管理協会)
  - 伊香賀 俊治 ((株)日産設計 環境計画室)
  - 伊坪 徳宏 (武蔵工業大学 環境情報学部)
  - 福葉 敏 ((独)産薬技術総合研究所 ライフサイエンスセンター)
  - 工藤 祐輝 ((独)産薬技術総合研究所 ライフサイエンスセンター)
  - 近藤 康之 (早稲田大学 政治経済学術院)
  - 磯原 嘉一 ((独)物質材料研究機構 エネルギー研究センター)
  - 諏佐 庄平 ((財)産薬環境・省エネルギー機構)
  - 高松 邦明 ((社)環境情報科学センター)
  - 津田 祥子 ((社)先端科学技術協会)
  - 中島 謙一 (東北大学 大学院環境科学研究科)
  - 中尾 道博 (関西大学 商学部)
  - 成田 暢彦 ((社)産薬環境管理協会)
  - 南齋 規介 ((独)国立環境研究所 循環型社会形成推進 産薬物研究センター)
  - 原田 幸明 ((独)物質材料研究機構 エネルギー研究センター)
  - 平尾 雅彦 (東京大学 大学院工学系研究科)
  - 藤田 壮 (東洋大学 工学部)
  - 松野 泰也 (東京大学 大学院工学系研究科)
  - 宮本 重幸 (日本電気(株) 基礎・環境研究所)
- International Advisory Board Chairman**  
山本 良一 (東京大学 生産技術研究所)